

地力で決めるトマトの追肥量



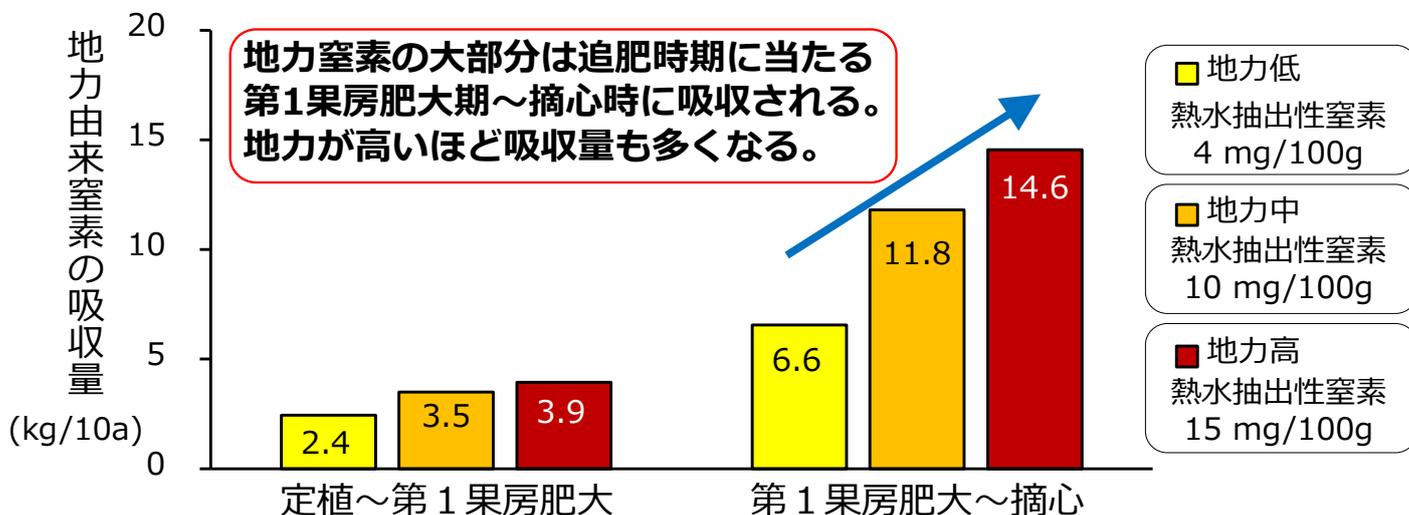
概要 Abstract

トマトの追肥量を地力窒素（熱水抽出性窒素）に応じて決める方法を開発し、トマトの生育を適切に管理できるようにしました。



成果 Results

生育ステージ別の地力由来窒素吸収量



地力を考慮したトマトの窒素施肥対応 (で囲った部分が新しい対応)

熱水抽出性窒素 (mg/100g)	～5				5～10				10～				
硝酸態窒素 (mg/100g)	～5	5～10	10～15	15～	～5	5～10	10～15	15～	～5	5～10	10～15	15～	
基肥量 (kg/10a)	15	10	5	0	15	10	5	0	15	10	5	0	
追肥量 (kg/10a)	1回目	4	4	4	0	3	3	3	0	2	2	2	0
	2回目以降	4	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2

- 1) 基肥量は従来と同様に硝酸態窒素に基づいて決定する
- 2) 追肥は各果房の2～3番果実がピンポン球大になった時点ごとに行う（摘心した位置から下の2果房は除く）

普及 Dissemination

- 本追肥量は、生育の進展と地力からの窒素供給がともに温度に依存するため、作型、収穫段数を問わず適用できます。
- 下層土診断や堆肥施用に伴う施肥対応を併用することで、より適切な施肥が行えます。
- 熱水抽出性窒素の分析値は3～5年間利用可能です。

連絡先 Contact

道南農業試験場
 研究部 生産技術グループ
 0138-77-8116
 donan-agri@hro.or.jp